

実績報告書

自治体名 東京都

【基本情報】

フリガナ	ウエストフィールドカブシキガイシャ		
法人名	ウエストフィールド株式会社		
フリガナ	ジドウハツツシエン ホウカゴトウデイサービス マナビヤ センニンチョウキョウシツ		
事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス まナビや千人町教室		
提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)			
放課後等デイサービス			
職員数(常勤換算数)【「全職員の月間勤務時間数」÷「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】			
5.0人			
参考情報: 令和元年度から令和6年度に係るICT導入モデル事業補助実績(複数回補助を受けている場合、補助年度は直近を選択)			
(補助実績)	なし	(補助年度)	

【報告に当たっての確認事項】※記載内容を確認し、チェックすること。

- ICT機器(AIカメラ等除く)の申請のために、都道府県等が行うICT導入に伴う研修会に参加した。
 - ICT機器等導入によって得られた生産性向上による業務効率化及び職員の業務負担軽減により超過勤務手当等の経費に金銭的剰余が出た場合には、当該費用を利用者が受ける障害福祉サービスの質の向上や職員の賃金改善に資する取組に適切に使用するとともに、その旨を職員等に周知した。
 - 「福祉・介護職員等処遇改善加算」を算定した。
- (該当する場合に、チェックしてください。)
- 同一敷地内に障害者を支援する施設・事業所と障害児を支援する施設・事業所が併設されている場合、障害者を支援する施設・事業所に係るICT機器導入の費用のみ計上している(費用を按分している)。

1. 事業実績

(1) 主な導入機器内容(複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> パソコン	<input type="checkbox"/> スマートフォン
<input type="checkbox"/> タブレット	<input type="checkbox"/> インカム
<input type="checkbox"/> AIカメラ等(防犯、虐待防止、事故防止など、利用者の安心安全のために活用するカメラ)	
<input type="checkbox"/> ソフトウェア(事業所での業務を支援するソフトウェア(記録業務、情報共有業務、請求業務)で、各種業務を一気通貫で行うことが可能なものに限る。)	
<input type="checkbox"/> ソフトウェア(バックオフィス業務のためのソフトウェア(勤怠管理、シフト表作成、人事、給与などの業務)で、各種業務を一気通貫で行うことが可能なものに限る。)	



＜点線内の機器等の導入に際し、必要な場合のみチェックすること

- 通信環境機器等(Wi-Fiルーターなど)
- 保守経費等(クラウドサービス、保守・サポート費、導入設定、導入研修、セキュリティ対策など)
- その他()

(2) ICTの導入を実施した分野(特に該当するもの1つに☑)

- 作業の迅速化に係る取組(現場や外出先での入力支援、支援記録の作成など)
- 情報の共有化に係る取組(職員間の情報の伝達など)
- 業務の統合化に係る取組(勤怠管理、シフト表作成、人事・給与業務など)
- その他

(3) 機器を導入して感じた課題及び効果(複数回答可)

課題	効果
<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入費用が高額である <input type="checkbox"/> 2 機器に関する情報が少ない <input type="checkbox"/> 3 機器が現場のニーズにあっていない <input checked="" type="checkbox"/> 4 利用者・職員の安全面に不安がある <input type="checkbox"/> 5 設置場所や準備・点検等、維持管理が大変 <input type="checkbox"/> 6 使い方の周知や教育・研修等の業務改革の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> 7 法人または施設・事業所としての具体的な方針がない <input type="checkbox"/> 8 機器を活用するための人員体制が足りない <input type="checkbox"/> 9 導入・活用する事に利用者・職員に抵抗感があつた <input type="checkbox"/> 10 その他	<input type="checkbox"/> 1 ケアの質の向上 <small>(利用者の自立支援、社会参加・コミュニケーション機会の増加に向けたケアの実施、根拠に基づいた支援の実施等)</small> <input checked="" type="checkbox"/> 2 職員の負担軽減 <input checked="" type="checkbox"/> 3 業務の効率化 <input type="checkbox"/> 4 会議や他職種連携におけるICTの活用 <input type="checkbox"/> 5 職員の確保・離職防止・定着に資する取組の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 6 ヒヤリハット・介護事故の防止 <input type="checkbox"/> 7 その他 (※その他を選択した場合に記入)

(4) 導入した成果

当事業所では、立ち上げ当初に資金面の制約から性能が十分でないパソコンを導入したため、日常業務において処理速度が遅く、入力や保存に時間を要する場面が生じていました。その結果、支援記録や請求事務などの効率が低下し、職員の業務負担が増加していました。また、オンライン会議や保護者面談の際にも、動作が不安定でスムーズな進行が難しい状況がありました。さらに、すでに導入済みの施設運営システムの継続利用も重要で、このシステムにより、紙記録や手作業による請求事務といった非効率は大幅に改善されました。しかし、継続利用でなければ記録ミスや作業時間の増大といった課題が再び顕在化する懸念があり、システムの維持は課題再発を防ぐ手段であり、事業運営に不可欠です。以上のように、機器の性能不足・システム継続利用の必要性が重なり、職員の業務効率や児童・保護者への支援の質に影響を与えています。これらを解決・抑制するために、安定的に活用できるパソコンの導入、システムの継続利用の確保が重要な課題でした。またこれらの情報収集、機器の選定ならびに、施設運営システムの使い方、技能の習熟、職員への周知徹底、生産性の向上にあたり、コンサルティングや研修を受ける必要があると判断しました。上記の課題に対して、成果としては、安定的な動作性能を備えたパソコンの導入により、日常業務における処理速度が向上し、入力・保存作業に要する時間が大幅に短縮されました。その結果、支援記録や請求事務の効率化が図られ、職員の業務負担が軽減されました。また、オンライン会議や保護者面談においても動作の安定性が向上し、円滑なコミュニケーションが可能となりました。さらに、施設運営システムの継続利用体制を確保したことで、記録ミスの防止や請求事務の正確性が維持され、業務の質の向上につながりました。加えて、コンサルティングや研修の実施により、職員のシステム活用スキルが向上し、運用の標準化と周知徹底が進みました。これらの取り組みにより、全体として業務の生産性が向上し、児童および保護者に対する支援の質の向上が実現しました。

(5) ICT機器等を導入した業務内容(概要)

① パソコンの導入
 日常業務に支障のない安定的に活用できるパソコンを導入することで、これまで手作業や時間を要していた支援記録の作成や請求事務等の業務を効率的に行うことが可能となりました。動作の安定的な機器を整備することで、作業中の不具合や処理の遅延といったストレスを軽減し、業務の中断ややり直しを防ぐこともつながりました。また、データの一元管理や検索性の向上により、必要な情報を迅速に取り出せるようになり、職員の業務負担軽減と正確性の向上が期待できます。結果として、業務全体のスピードと質の両面での改善が図られました。

② コンサルティング、研修
 機器の導入にあたって専門的なコンサルティングを受けることで、現場の実態や業務内容に即した最適な機器選定が可能となり、過剰なスペックや不要な機能に対する無駄な出費を防ぐことができました。今後の機器選定にあたってもコスト削減につながり、有用な知識となりました。また、導入後に研修を実施することで、職員が機器の基本操作だけでなく、各種機能を正確かつ効果的に活用できるようになりました。さらに、機能への理解が深まることで、業務に応じた効率的な使い方や応用的な活用方法を見出すことができ、生産性の一層の向上が図られました。これにより、ICT機器の導入効果を最大限に引き出し、継続的な業務改善へとつなげていくことが可能となりました。